



このたびは、増設PAアンプUZ-120をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

この取扱説明書は、お読みになりましたら、大切に保管し、後日わからないことがあれば再びご覧ください。

目次

安全上のご注意	1~2
ノイズ対策について	3
各部の名称と説明	4
メインアンプFXシリーズとの接続のしかた	5
中継増設端子の利用のしかた	5~6
非常制御端子について	7
このような使いかたができます	8
定格	9
外観寸法図	9
連絡先のご案内	10

安全上のご注意

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。



分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。



異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。(雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。)



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。



電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)販売店などに交換をご依頼ください。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない

感電の原因となります。



ACアウトレットに接続する機器の消費電力の合計は、機器に表示しているW数またはA数を超えない。

火災の原因となります。音響機器以外は接続しないでください。



壁から4cm以上の間隔をおいて設置する

内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。





注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

工事は工事店に依頼する

工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。



異常に温度が高くなる場所に放置しない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

火災の原因となることがあります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセント
から抜く

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



電源コード、スピーカーコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



濡れた手で、電源コードを抜き差ししない

感電の原因となります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



移動するときは、コード類を傷つけない

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



プラグを
コンセント
から抜く

この機器に乗ったり腰掛けたりしない

特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



オーディオ機器、外部スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



設置・使用上のご注意

- 入力線と出力線は近づけずと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 直射日光の差し込む場所、温度の高くなる所には設置しないでください。また、湿度・ほこり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
- 本機を雑音発生の原因になる機器*の近くには設置しないでください。

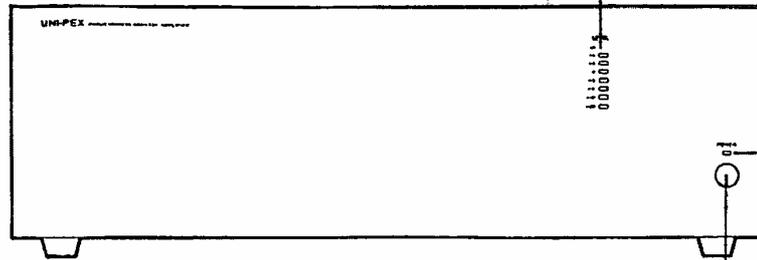
*高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器(コンピューター、電子楽器など)、空気清浄器。

ノイズ対策について

	<p>■マイクケーブル等の入力線のノイズ対策 調光器系統、AC電源系統とは必ず別配管とし、離して布線してください。</p>
	<p>■スピーカ線のノイズ対策 スピーカ線は調光器、水銀灯などの系統線とは離して布線してください。</p>
	<p>■電源のとりかた 電源は調光器、水銀灯などの系統とは必ず別にしてください。それでも不十分な場合はアンプへのAC100V電源線にノイズフィルターを入れてください。</p>
	<p>■サービスコンセントの使いかた サービスコンセントには、けい光灯など音響機器以外の機器を接続しないでください。 (容量AC100V、100W以内)</p>

各部の名称と説明

(前面)



出力レベルメータ
出力レベルを表示します。
+3dBのLED(赤)が点灯
しないように音量を調節
してください。

電源表示灯
電源が入ると赤に
点灯します。

電源スイッチ

このスイッチを押すと電源が入、再度押すと切
になります。FXシリーズと接続される場合はFX
シリーズの電源を入れますとこのスイッチは切ら
れていても電源が入ります。

ご注意

FXシリーズのブースタ出力やリモートマイク
RMM-101から接続される場合は、電源起動端子
を利用し、本機の電源スイッチを「切」の状態に
しておいてください。
この電源スイッチを「入」の状態にして、FXシ
リーズやRMM-101のスイッチを入れますと接続
されたスピーカが破損する場合があります。

(後面)

スピーカ出力端子
ハイインピーダンスの接続及び
ローインピーダンスの接続の項
に従ってください。

入出力端子

FXシリーズアンプや増設アンプの接続端子です。
(P.3 メインアンプFXシリーズとの接続のしかた参照)

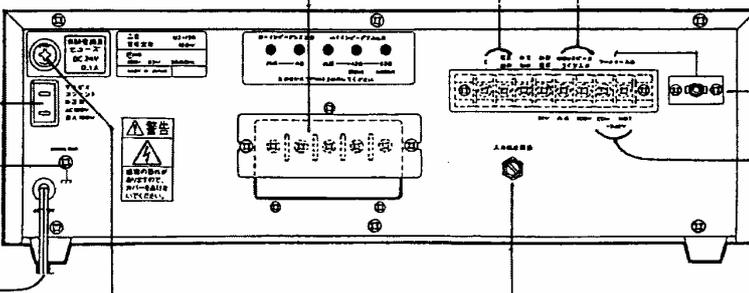
サービスコンセント

(電源スイッチと非連動)
AC100V 最大100W以下の音響
製品の接続にご利用ください。
(蛍光灯など音響製品以外は不可)

中継増設端子

既設の100系ラインスピーカ回線より入力して
ください。(0.5Wスピーカに相当)
(P.3 中継増設端子の利用のしかた参照)

AC100V
コンセントへ



外部電源保護ヒューズ

出力端子部から取り出せる外部電源回路の
保護用ヒューズです。ACプラグが差し込
まれているときに出力されます。
ヒューズは指定容量(0.1A)のものと交換
してください。

入出力端子

FXシリーズアンプ
や増設アンプの接続
端子です。
(P.3 メインアンプ
FXシリーズとの接
続のしかた参照)

アース端子(雑音低減用)

本機に他の音響機器を接続するときなどで雑音低減の効果があ
る場合に、他方のアース端子に接続したり、接地してください。
また静電気対策などのためにも接地することをお勧めします。

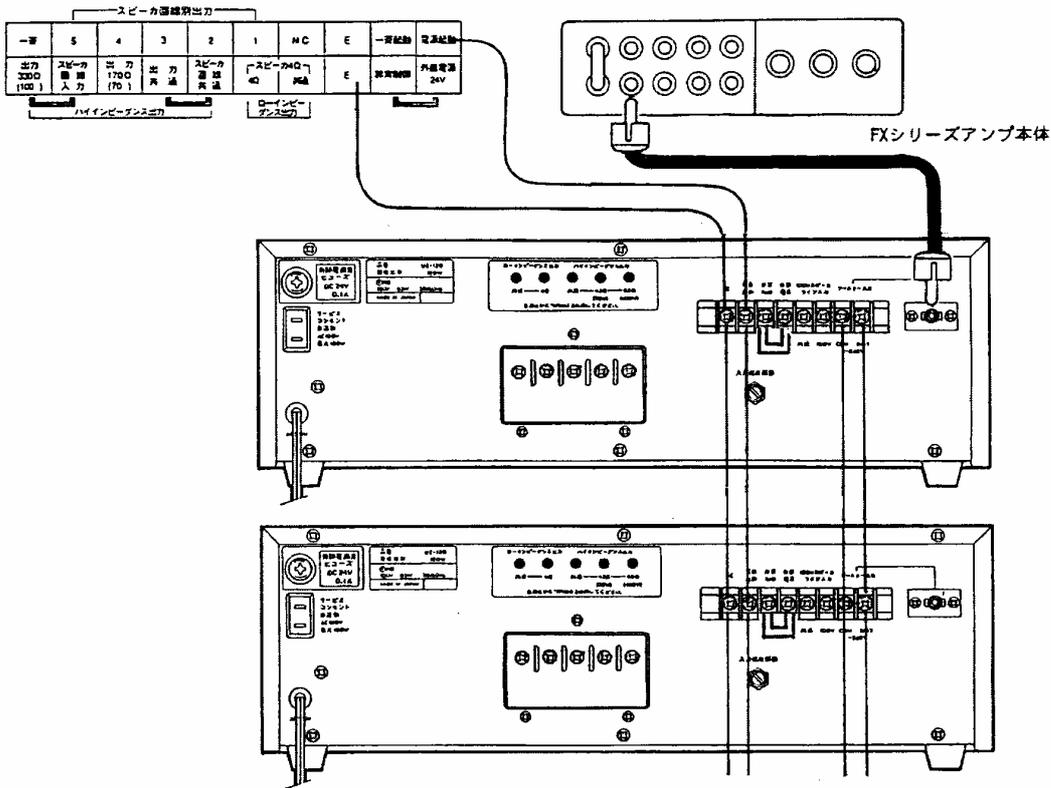
入力感度調節器

入出力端子のブースタ入力感度と中継増設
端子の100系ライン入力感度が同時に調節
されます。右にまわすと入力感度が高くな
り、音が大きくなります。左にまわすと入
力感度が低くなり、音が小さくなります。
(出荷時、入力感度は-2dBに調節されています。)

警告 感電の恐れがありますので電源に接続するときは、
必ず端子カバーを取り付けてください。

メインアンプFXシリーズとの接続のしかた

○下図のように接続してください。

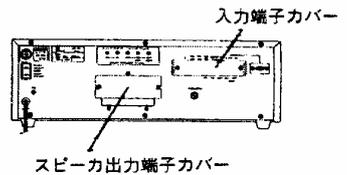


中継増設端子の利用のしかた

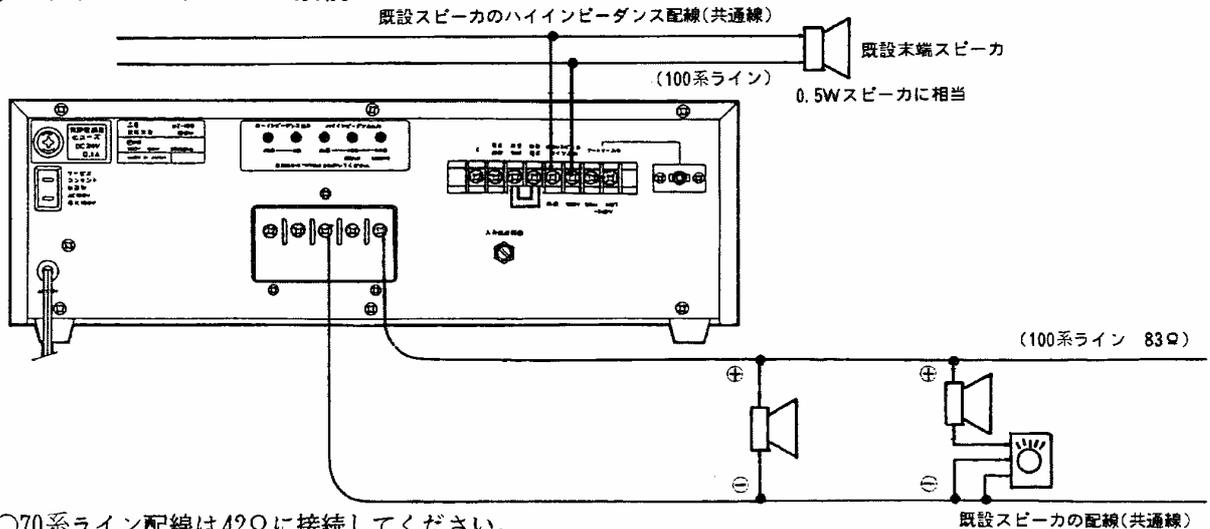
- 100系ラインで配線されている既設のスピーカを、さらに増設したいときに利用してください。
- 70系ラインの配線には使用できません。

接続のしかた

- 端子カバーをはずしてください。
- 接続が終了したら必ずカバーを取付けてください。

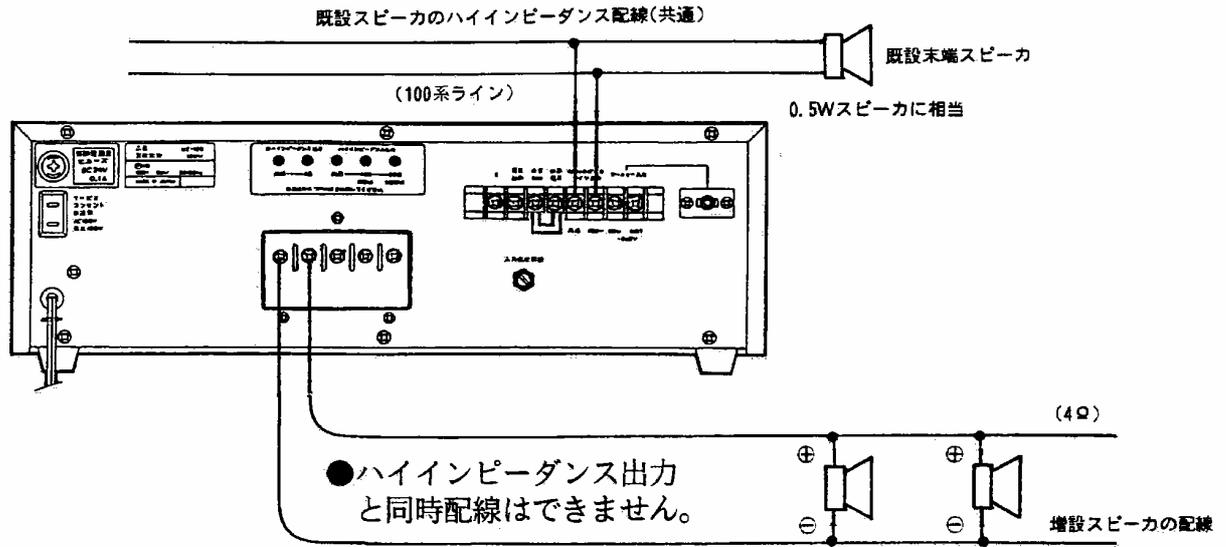


①ハイインピーダンスの接続



- 70系ライン配線は42Ωに接続してください。
- ローインピーダンス出力と同時配線はできません。

② ローインピーダンススピーカの接続



スピーカの接続について次のことにご注意ください。

ハイインピーダンススピーカの接続

ライン	適合インピーダンス	スピーカの必要容量
100系ライン	83Ω以上	スピーカ(トランス付)の合計容量が120W以内
70系ライン	42Ω以上	スピーカ(トランス付)の合計容量が240W以内

○通常は100系ライン(共通-83Ω)に接続してください。

- スピーカの合成インピーダンスがアンプの適合負荷インピーダンスより小さくならないようにしてください。
- スピーカの合計W数はアンプの定格出力以下になるようにしてください。

ローインピーダンススピーカの接続

適合負荷インピーダンス	スピーカの必要容量
4 ~ 16Ω	120W(4Ω以上)

- 多数のスピーカを接続するときは全スピーカの合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。
- 使用するスピーカの定格入力(1個)はスピーカ1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。

スピーカ回線の太さと配線可能距離のめやす。

ハイインピーダンスの場合

線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
42Ωの場合の延長距離	—	90mm	140mm	250mm	280mm	650mm
83Ωの場合の延長距離	145mm	180mm	280mm	500mm	770mm	1.3km

ローインピーダンス(4~16Ω)の場合

線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
距離	7m	10m	13m	23m	40m	60m

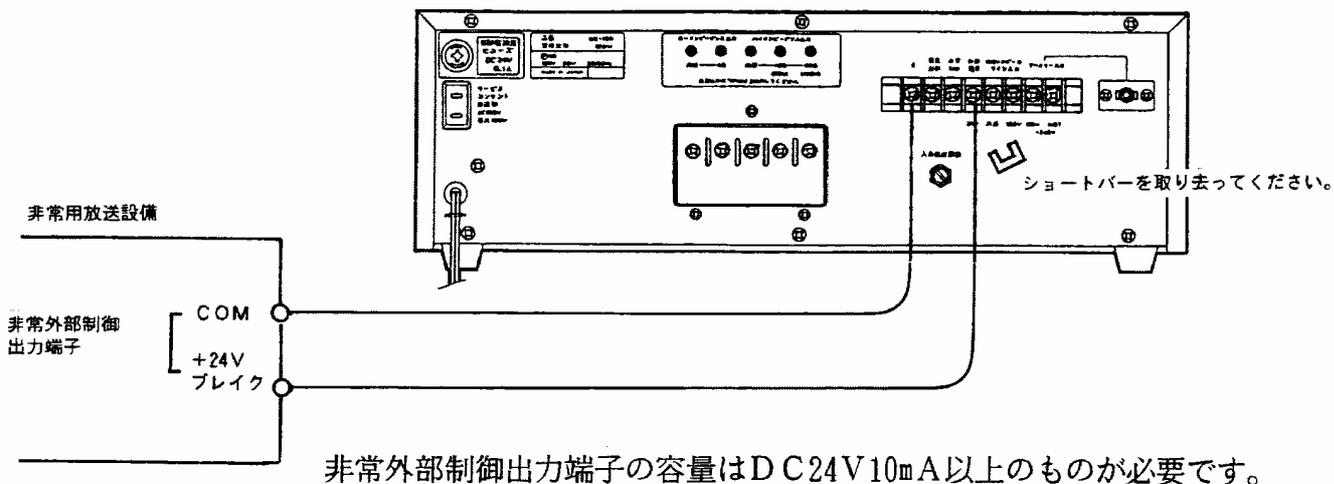
非常制御端子について

非常用放送設備からの信号(常時DC24V受電、非常時断または非常時無電圧ブレイク接点)で非常時に本機の電源を「切」にすることができます。

接続のしかた

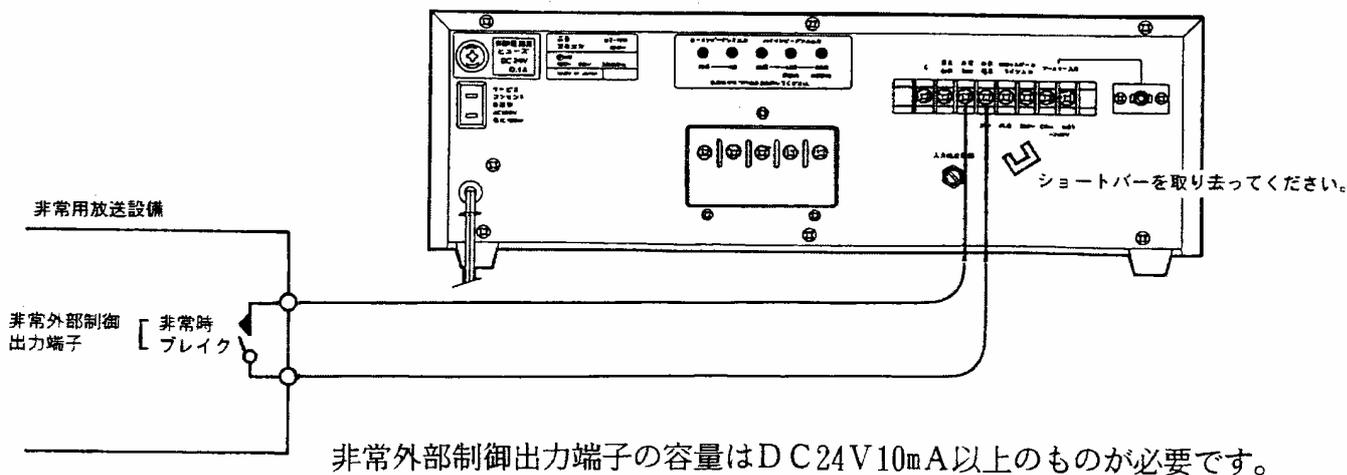
常時DC24V受電、非常時断の場合

- ①端子部の「外部電源」と「非常制御」間のショートバーを取り去ります。
- ②非常用放送設備の非常外部制御出力端子の24Vブレイク端子から本機の「非常制御」に、COM(共通、E)端子から、本機の「E」端子に接続してください。



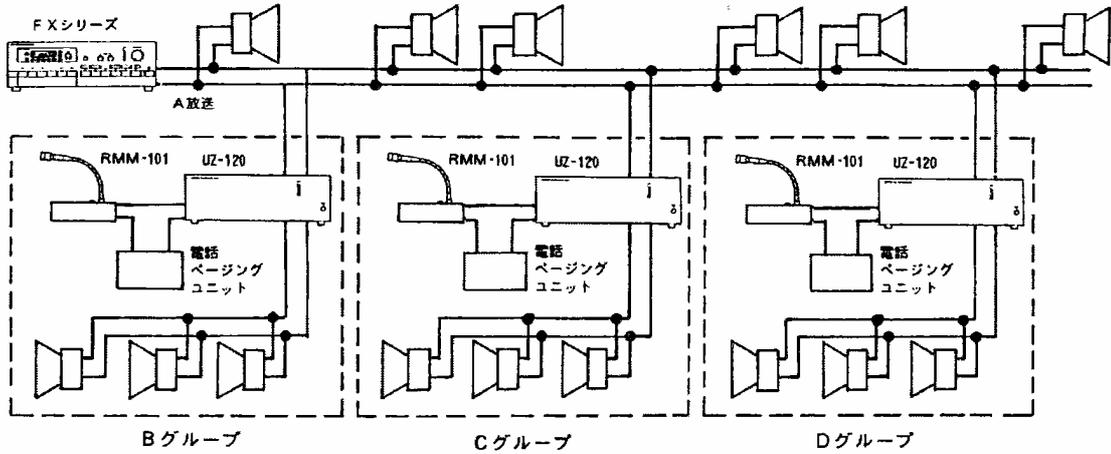
非常時無電圧ブレイク接点の場合

- ①端子部の「外部電源」と「非常制御」間のショートバーを取り去ります。
- ②非常用放送設備の非常外部制御出力端子から本機の「外部電源」と「非常制御」に接続してください。



このような使いかたができます

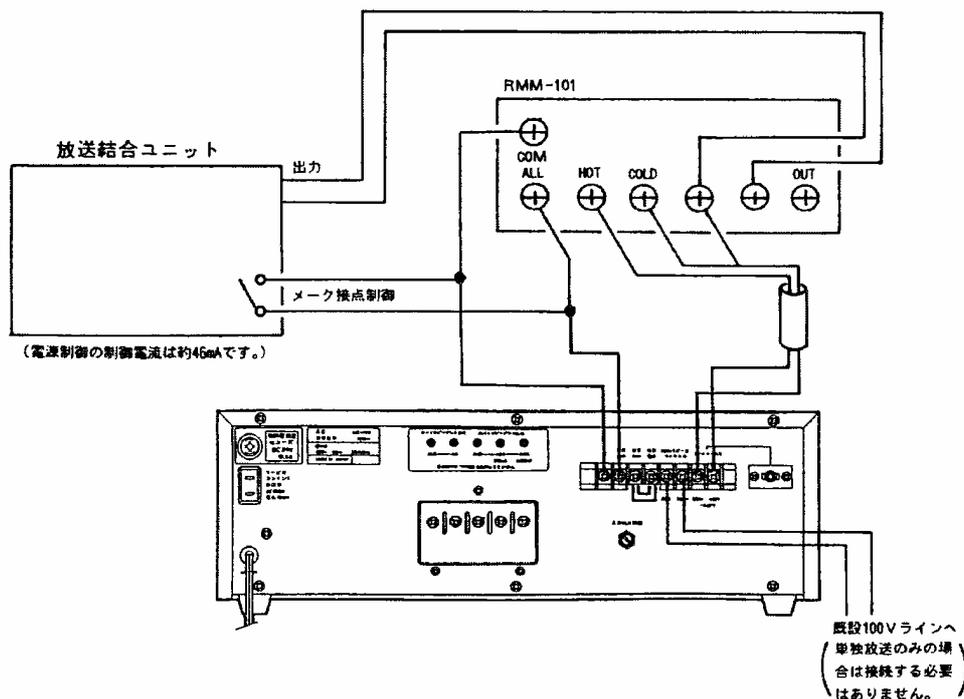
- FXシリーズの増設の他に、本機単独でグループ別放送ができます。
- 電話ページングとの接続も可能です。



- A放送と各グループ放送がミキシング放送されます。
- 各グループ単独放送のときはA放送が中断しているときに放送してください。
- 本機の入力感度調節器はA放送と各グループ出力スピーカと同時に調節されます。
A放送がBGMの場合は、この調節器で音量を下げ、リモートマイクRMM-101でグループ放送の音量を調節してください。
- 電話ページングユニットを接続することによりグループ毎にページング放送ができます。
- BグループとCグループ間でのミキシング放送はできません。

単独放送及び放送結合ユニットの接続のしかた。

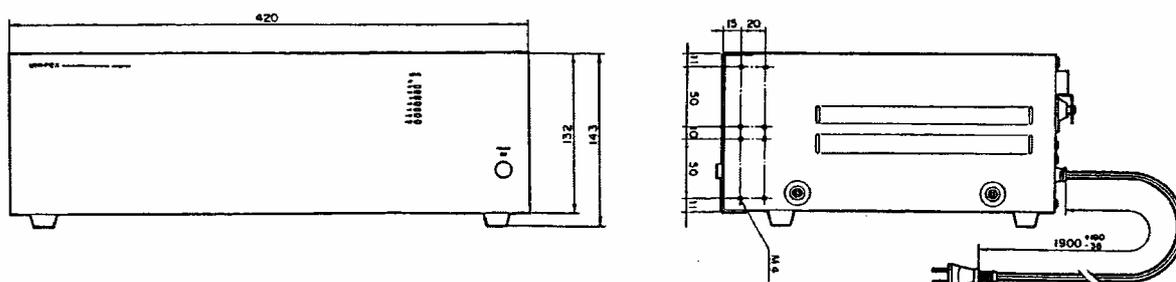
- 別売のリモートマイクRMM-101が必要です。



定格

使用電源	AC 100V 50/60Hz
定格消費電力	95W (電気用品安全法による測定方法に基づく)
消費電流	AC 3.7A
定格出力	定格 120W
出力負荷インピーダンス	83Ω (100系) 平衡 42Ω (70系) 平衡 4Ω (4~16Ωスピーカー使用可能)
ひずみ率	0.5% (ブースター入力 1kHz 定格出力時)
周波数特性	50Hz~20kHz 偏差±3dB (ブースター入力 定格出力 -10dB時)
入力感度及びインピーダンス	ブースター入力: 約-22dBV~18dBV 10kΩ 平衡 (出荷時は-2dBVに調節) 100系スピーカライン入力: 約100V 20kΩ 平衡 (100系ライン接続時 0.5Wスピーカに相当) } 兼用音量調節器付
信号対雑音比	70dB 残留 75dB
動作表示	電源表示灯 (赤) 出力 LEDによる
使用温度範囲	-10°C ~ +55°C
寸法	幅 420mm 高さ 143mm 奥行 296mm
重量	約 6.8kg
付属品	ショートバー 1、取扱説明書 (保証書付) 1
適合品	FXシリーズ、RMM-101

外観寸法図



連絡先のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。
販売店に修理を依頼する場合は下記の項目をお確かめください。

品名 品番 お買い上げ日 故障の状況（できるだけ具体的にお願いします）

ご転居されたり、ご贈呈品などで販売店に修理のご相談ができない場合は最寄りの下記弊社営業所にご相談ください。

札幌営業所	〒064-0811	札幌市中央区南1条西 10-2-17	TEL.(011)511-5505(代)	FAX.(011)511-5529
釧路営業所	〒085-0025	釧路市宝町 3-8	TEL.(0154)25-3156(代)	FAX.(0154)25-6261
仙台営業所	〒984-0015	仙台市若林区卸町 3-6-11	TEL.(022)232-1295(代)	FAX.(022)232-1297
東京営業所	〒110-0008	東京都台東区池之端 2-3-17	TEL.(03)3821-3721(代)	FAX.(03)3827-5423
新潟営業所	〒950-0922	新潟市山二ツ 4-6-19	TEL.(025)287-3611(代)	FAX.(025)287-3613
金沢営業所	〒920-0362	金沢市古府 1-190	TEL.(076)240-4577(代)	FAX.(076)240-6737
静岡営業所	〒422-8037	静岡市下島 152-5	TEL.(054)238-1446(代)	FAX.(054)238-1453
名古屋営業所	〒466-0051	名古屋市昭和区御器所 1-3-29	TEL.(052)871-1671(代)	FAX.(052)872-4128
大阪営業所	〒556-0005	大阪市浪速区日本橋 4-2-7	TEL.(06)6632-2855(代)	FAX.(06)6644-1624
岡山エリア連絡先			TEL.(086)244-2317(代)	FAX.(086)244-4461
高松営業所	〒760-0079	高松市松縄町 525-1-203	TEL.(087)868-1181(代)	FAX.(087)868-1331
広島営業所	〒730-0016	広島市中区鞆町 5-29	TEL.(082)222-5511(代)	FAX.(082)222-5513
福岡営業所	〒810-0074	福岡市中央区大手門 3-9-15	TEL.(092)721-5000(代)	FAX.(092)721-5089
鹿児島営業所	〒890-0052	鹿児島市上之園町 8-12	TEL.(099)250-0220(代)	FAX.(099)257-3327

ユニペックス株式会社

本社/営業本部 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近 3-6
お客様相談窓口 (CS課) TEL.(072)855-3334